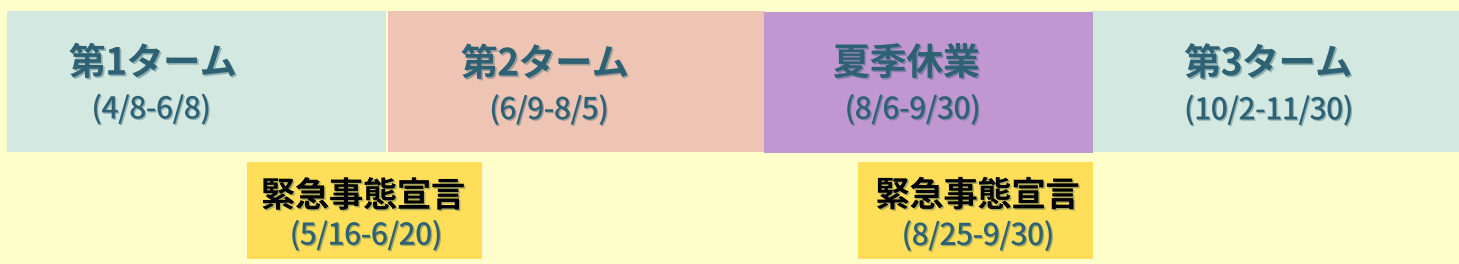
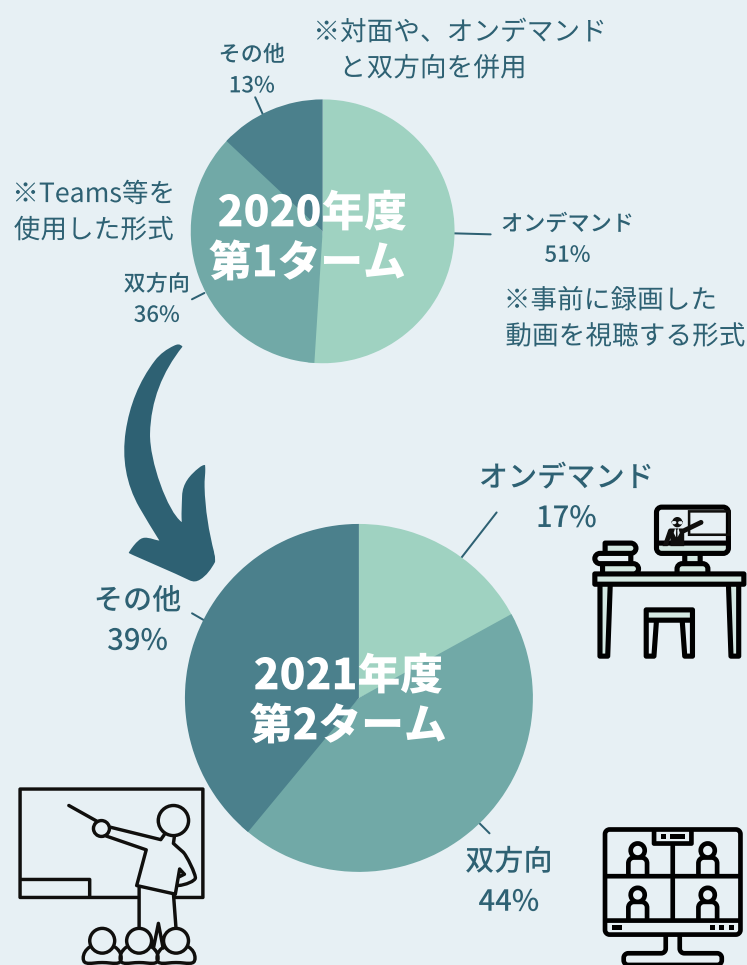


# 2021年度コロナ禍における本学の学生へのアンケート結果について【概要】

昨年(2020年度)に引き続き、学生の皆さんの生活の様子を把握し、授業方法等の改善及び学生の心身の健康維持に必要なサポートを充実させるため、学部生・大学院生・留学生等を対象にアンケートを実施しました。

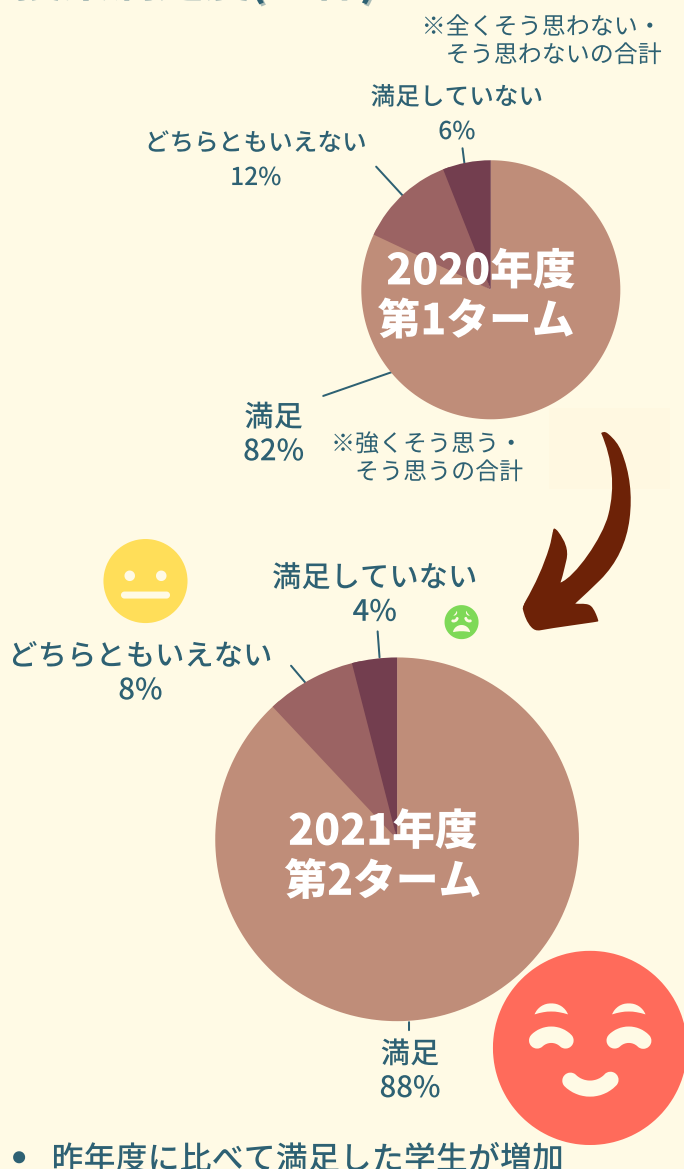


## オンライン授業形態の変化(全体)



- オンデマンド型の授業が減少し、双方向型やオンデマンド型と双方向型を併用した授業形態が増加

## 授業満足度(全体)



- 昨年度に比べて満足した学生が増加

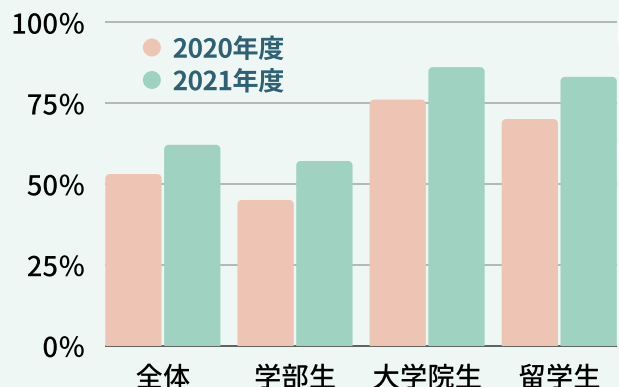
### 【概要と対応】

- 昨年度はオンライン授業を初めて行う教員も多かったが、学内での研修や経験の蓄積等と、各授業の特性や内容に応じてオンラインも併用することで、より教育効果の高い授業とする工夫や改善が進んだ
- 今後も感染防止対策を徹底した上で、各科目の特性に応じてハイブリット方式(対面授業・オンライン授業の併用)を取り入れ、それぞれの特徴を活かした授業を実施

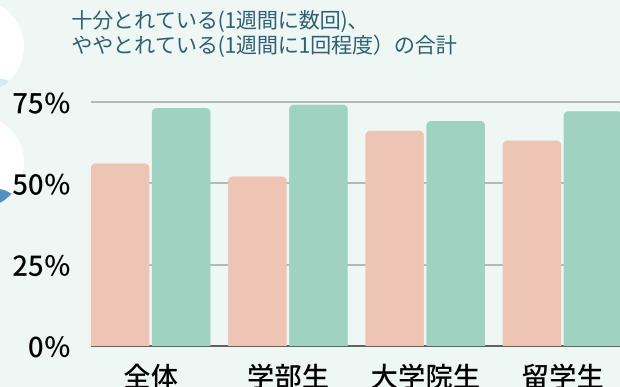
詳しくは、学生による授業改善アンケート(実施期間:2021.5.14-8.5)をご覧ください。  
[https://www.hiroshima-u.ac.jp/about/HU\\_self\\_evaluation/self\\_evaluation](https://www.hiroshima-u.ac.jp/about/HU_self_evaluation/self_evaluation)

# 2021年度 広島大学の学生のコロナ禍における生活について

## 指導教員/チューターとのコミュニケーションがとれているかどうか



## 同級生/友人とのコミュニケーションがとれているかどうか



十分とれている(1週間に数回)、  
ややとれている(1週間に1回程度)の合計

学部生・大学院生・留学生の全てで、昨年度に比べて、  
コミュニケーションが取れたと感じている人が増加

※( )内は2020年度の数値

## 健康状態(複数回答)

- 特に問題ない 64% (71%)
- 身体がだるい 14% (10%)
- 頭痛、肩こりがある 13% (11%)
- 気分が落ち込む 17% (12%)
- 孤独感や孤立感を感じる 14% (11%)
- 不安を感じる 18% (17%)



## 運動習慣(全体)

- 週1日以上1回30分程度運動をしている学生

全回答者のうち  
**68%(70%)**



## 学生生活の悩み(複数回答) ※項目を抜粋して掲載



	将来(進路)のこと	修学上のこと	経済的なこと
学部生	41% (36%)	28% (30%)	14% (11%)
大学院生	46% (45%)	36% (40%)	29% (28%)
留学生	51% (43%)	48% (50%)	43% (37%)



### 【概要と対応】

- コミュニケーションが昨年度より取れたと感じている人が増加
- 新入生と上級生との懇話会を開催したことでコミュニケーションの向上に寄与
- 懇話会のような企画を定期的に開催し、日ごろの不安や疑問等について気軽に相談できる機会を創出
- 各種相談窓口(心身の健康・学習支援・ピアサポートルーム等)の積極的な利用を繰り返し呼びかけ
- 保健管理センターがこころや体の健康管理をサポート、センターで実施する対処法を広く紹介

今回の調査結果を受け、今後も学生の皆さんが安全に、また安心して大学生活を送り、  
十分な学修の成果をあげられるよう、最大限努めていきます。